

施工要領

【施工環境】

■内装として使用

- ・パロア漆喰ルマージュは内装用途にご使用ください。屋外用途には使用できません。

■施工温度

- ・施工可能温度範囲は 10℃～35℃です。
- ・低温時は接着不良が生じたり、施工後に膨れが発生する場合があります。温風ヒーター等で現場環境を改善してから施工してください。
- ・高温時には粘着剤が柔らかくなり初期の接着性が高まるため、貼り出しの位置調整に注意が必要です。直射日光が当たる下地面は高温になっている場合がありますのでご注意ください。

■環境

- ・施工面だけでなく床面の清掃を行い、必要に応じて防塵対策をしてください。シートと下地面との間に異物が入ると膨れの原因となります。
- ・空気が乾燥して静電気が発生しやすい場所は、床に霧吹きなどで水をかけてください。
- ・必要に応じて投光器などを使用し、明るい場所で施工してください。暗い場所での施工は、異物の混入や膨れを見逃す恐れがあります。

【施工場所】

■水廻り・湿度が高い場所

- ・漆喰はアルカリ性のため、水に濡れたままの状態が続くと白色に変色する現象（白華）が生じます。水廻りでの使用は避けてください。

■調理場付近

- ・油分は漆喰内部にしみ込んでしまうため、拭き取ることができません。調理場付近でのご使用は避けてください。

■曲面下地

- ・三次元曲面には施工しないでください。本品は、塩ビシートのように伸びないため、無理に力を加えると漆喰の破壊・剥離が生じます。

■重ね貼り

- ・重ね貼りした場合、防火材料とはなりません。
- ・必ず本品の養生シートを剥がした後、漆喰面にシーラーを塗り、十分に乾燥させてから貼ってください。

■下地の色

- ・下地材の色によっては、下地の色が透けて見える場合があります。ご使用時には十分ご注意ください。

【下地調整】

■下地の作り方

- ・ボード類の高さは天井高に合わせて、できるだけ水平方向に継ぎ目がないようにしてください。継ぎ目が出る場合は、できるだけ目線から離れた位置にくるようにしてください。
- ・ケイ酸カルシウム板、石膏ボード、合板等で下地を作るときは、継ぎ目部分をビスやタッカーで完全に固定してください。貼付け時に押さえる力で下地が動き、パテが割れる場合があります。

■下地の汚れ除去

- ・ 下地表面の水分、埃、油分等を完全に除去してください。

■下地の平滑性

- ・ 下地は凹凸がなく平滑な状態にしてください。

■シーラー処理

- ・ モルタル、合板、MDF、ケイ酸カルシウム板は、アク止め及び十分に下地に接着させるためにシーラー処理をしてください。
- ・ シーラーは水性アクリル樹脂系をご使用ください。
推奨品:シーラーセットアップ/2倍希釈(ウォールボンド工業製)

■プライマー処理

- ・ 吸水性下地においては、シーラー処理で十分な接着力が得られます。金属板等の非吸水性下地においては、プライマー処理をしなくても十分な接着力が得られます。
- ・ 溶剤系プライマーは、漆喰のアルカリ分と反応して漆喰が変色する場合があるため使用しないでください。

■ガラスへの施工

- ・ ガラスに貼る場合は汚れを除去して直接貼り付けてください。ただし、直射日光が当たる場合は、粘着剤が劣化したり、ガラスが熱割れを起こす場合がありますのでご注意ください。

■防火材料認定仕様における下地処理

- ・ 金属板を除く法定不燃材、法定準不燃材の場合、シーラーの仕様は、スチレン・アクリル共重合系樹脂(シーラーセットアップ(ウォールボンド工業製))になります。シーラーなしも仕様に含みます。加えてプライマー処理した場合は、認定仕様にはなりません。
- ・ 金属板の場合、プライマーの仕様は、アクリル樹脂になります。プライマーなしも仕様に含みます。

【裁断】

■カット

- ・ 縦横方向に 10mm 間隔で方眼が入っていますので、裁断時の目安にしてください。
- ・ 本品の表面には養生シートが付いていますが、カットしたり巻き直しするときは、表面に傷が付かないように床や作業台の養生を行ってください。
- ・ 本品の表面に付いている養生シートは、貼り付け作業が終わるまで剥がさないようにしてください。

■一時保管

- ・ 裁断した本品を一時保管するときは、剥離紙が内側になるように巻き、端部をマスキングテープで仮止めし、縦置き(又は宙吊り)にして保管してください。
- ・ 漆喰は空気中の二酸化炭素を吸収して硬化する性質があります。裁断後は長時間保管せずに速やかに貼り付け作業を行ってください。

【貼り付け】

■平面部

- ・ 剥離紙の端部から 50～100mm を剥がして、折り目を付けます。剥離紙を剥がした接着面を下地に貼り、指で軽く押さえ仮留めします。この時点で、下地にきちんと納まるか確認します。このとき強く圧着すると、位置調整のため下地から剥がした際に本品を傷める場合がありますのでご注意ください。
- ・ 剥離紙の折り返しに沿って、スキージーを使って中央部から左右に圧着します。
- ・ 剥離紙を約 30～40cm 剥がしながら上から下へと圧着してください。このとき本品に余分な力を加えないようにしてください。
- ・ 貼り残しがないか確認しながら全体を圧着します。

- ・ 不要な部分をカッターで切り取ります。
- ・ 最後に養生シートを剥がし取ります。このとき接着不良がないか確認してください。接着が悪い箇所は、養生シートを当てて、スキージーまたはローラーを使って圧着してください。漆喰表面を直接プラスチックスキージーで擦ると擦り傷が入る場合がありますのでご注意ください。

■出隅部

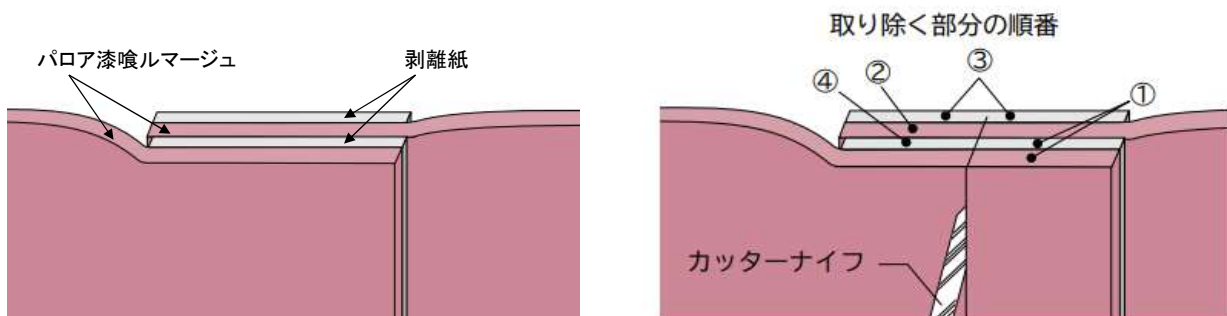
- ・ 出隅の直線が正確に出ていることを確認してください。本品は引張り伸びが殆どないため、直線が正確に出ていないとシワになりやすくなります。
- ・ スキージーを使ってコーナーの頂点に折り目を付けて角を決めてください。
- ・ 出隅部の貼付けは、コーナー部にたるみが残らないように本品を軽く引っ張りながら圧着してください。
- ・ 平面部と同様に、養生シートを剥がして接着不良がないか確認してください。
- ・ コーナー部にクラックが発生した時は、#180～#240 のサンドペーパーで軽く擦ってください。

■入隅部

- ・ あらかじめコーナー部分に位置する部分から貼付け面に向かって、コーナー線と平行に 20～30mm の位置の剥離紙に裏スリットを入れてください。
- ・ 貼り付け面のみ剥離紙を剥がしながら圧着し、コーナー部分の剥離紙は残したままにします。
- ・ コーナー部にたるみが残らないようにスキージーで押し込み、地べらなどを使用してカットします。コーナー部の剥離紙を取り、スキージーで押し込むように圧着してください。
- ・ 平面部と同様に、養生シートを剥がして接着不良がないか確認してください。
- ・ もう一方の面も同様に貼ってカットして仕上げてください。

■突き付けジョイント

- ・ 自然素材のため、両端部の色に差がでる場合があります。ジョイントするときは、同じ位置の端部同士で突き合わせてください。(リバース貼り)
- ・ あらかじめ剥離紙の突き合わせる端から 40～50mm の位置に、裏スリットを入れてください。
- ・ スリットした端部の剥離紙を残した状態で、20～30mm 重ねるように貼り付けます。重ねるときは、目印を入れて平行に重ねるようにします。このとき、必ず剥離紙の部分で重ねるよう注意してください。
- ・ 重なり部分の中央に定規を当て、カッターナイフで直角に切れ目を入れてください。剥離紙を下敷代わりにして、下地に切れ目が入らないように注意してください。
- ・ 裁断した端材と残った剥離紙を取り除きます。
- ・ 本品の端部が重ならないように指先で押さえ付けます。突き合わせ部分に段差が生じていないことを確認して、スキージーで圧着します。段差がある場合は、ローラーで押さえ付けてください。



■施工時の注意事項

- ・ 細い底目地等にスキージーで無理に押し込むと漆喰が割れて剥がれてしまいます。細かい箇所の施工には十分に注意してください。
- ・ 本品の表面に付いている養生シート面及び漆喰面に粘着剤が付かないように注意してください。粘着面に養生シートの繊維が付いて取れなくなります。また、漆喰面に粘着剤が付くと漆喰が剥がれてしまいます。マスキングテープまたはファイバーテープで養生をしてください。
- ・ マスキングテープの種類によっては、漆喰のアルカリ分と反応して変色する場合があります。マスキングテープを使用するときは以下のものをご使用ください。
No.2311(ニチバン)、SB246S・SB246・GS-21・SR-100(カモ井)、No.243J・79H(3M)、No.7239(日東電工)

【施工後】

- ・ 養生シートを剥がしてください。養生シートが付いた状態では、不燃材料あるいは準不燃材料の適用対象になりませんのでご注意ください。
- ・ 貼り付け後は、容易に本品を剥がすことができなくなります。貼り替えなどにより本品を剥がす際、下地基材を傷める恐れがありますのでご注意ください。プライマー希釈液を漆喰表面に塗布すると剥がしやすくなります。

【メンテナンス】

- ・ 日常的な汚れは、よく絞ったメラミンスポンジで軽く擦り、柔らかい布で水分を拭き取ってください。表面に水が付いたまま放置すると白く変色(白華)する場合があります。また、強く擦りすぎると風合いが変わる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 小さな傷は、同色の補修パテで修復することができます。傷のところだけ塗ってください。塗り広げると風合いが変わるためご注意ください。

【保管】

- ・ 漆喰は空気中の二酸化炭素を吸収して硬化する性質があります。必要数量をカットした後は、剥離紙を内側にして紙管に巻き、二酸化炭素の吸収を防ぐためガスバリアフィルム(ビニール等)で巻いて宙吊りにし、専用ダンボールケースに入れ、温度 10～40℃、湿度 65%以下の暗所で保管してください。



リフテックサインシステム株式会社

本 社 〒153-0061 東京都目黒区中目黒2-1-27 TEL.03-5721-4915 FAX.03-5721-4924
大 阪 支 店 〒550-0013 大阪市西区新町1-4-24 TEL.06-6539-3101 FAX.06-6531-5613
札幌(営)TEL.011-785-1341 仙台(営)TEL.022-208-5380 名古屋(営)TEL.052-955-6900 福岡(営)TEL.092-286-1774